

暗雲漂う！激増する高速道路の交通死亡事故！

～「慣れ」「過信」「油断」は事故当事者になる三大要素～

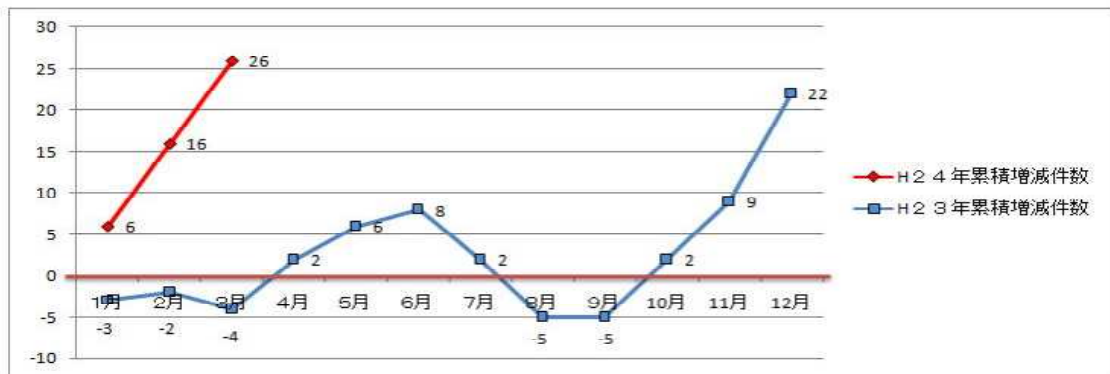
1 高速道路での死亡事故が昨年に比べ激増しています。

平成24年3月末現在の高速道路における交通死亡事故は56件60人（対前年同期増減率+86.7%+66.7%）と急増しています。

毎月約10人ずつ前年と対比して累計増減数を増やしていることから、この傾向に歯止めをかけなければ、年末には300件（参考：平成15年305件）の発生件数に迫る勢いです。

○ 累積増減件数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※年間件数
H24年累積増減件数		6	16	26									
H23年累積増減件数		-3	-2	-4	2	6	8	2	-5	-5	2	9	22



※ 「H24年累積増減件数」とは、H24年の高速道路における交通死亡事故件数をH23年と同期対比した場合における年初からの累計増減数である。

※ 「H23年累積増減件数」とは、H23年の高速道路における交通死亡事故件数をH22年と同期対比した場合における年初からの累計増減数である。

※ 上記表の1～12月は、各月末における対前年増減数を表示している。

【死亡事故の特徴】

人对車の事故形態が多い。

- ・ 14件18人（対前年同期+8件+11人）
- ・ 佇立の原因は、 事故6件 故障2件 立入・作業各1件 その他4件
- ・ 高速道路の危険性を認識していないと思われる佇立原因が目立つ。

1当が事業用貨物の事故が多い。

全体の45%を占める（H23中は35%）。

○ 佇立事故の原因となる事前の出来事の推移

	H22	H23	H24
故障	6	11	2
事故	7	12	6
立入	0	5	1
作業	2	1	1
その他	4	4	4
合計	19	33	14

※ H24年は3月末までの数値である。

※ H20～H23は年間の数値である。

2 人と車の事件事例

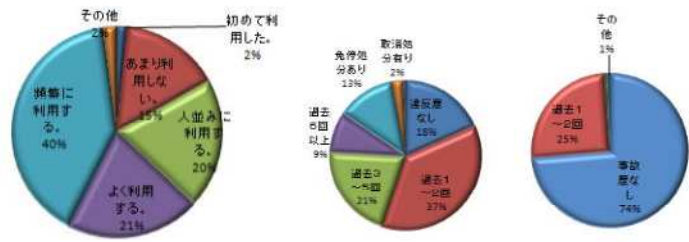
中型貨物車が走行車線を進行中、別件単独事故で走行・追越車線に跨り停止中の普通乗用車及び二次事故を防ごうと通報のため路肩に停止し降車佇立中の歩行者5人等と衝突。中型貨物車の運転者及び歩行者2人が死亡。

大型貨物車が追越車線を進行中、交通トラブルにより同車線に停止中の貨物車に追突。降車して本線車道上で口論中の歩行者3人を巻き込み、歩行者2人が死亡。

3 事故当事者の特徴

高速道路走行に慣れている人が事故原因を作っていた！

警察庁では、高速道路で交通事故の原因を作っている人（第1当事者）は、どのような人なのだろうかと、H23年中の交通死亡事故を調査した。すると、意外な結果が・・・



4 高速道路利用者にとってもらいたいこと

慣れ過ぎず

いつも高速道路を利用する人も、高速走行に慣れ過ぎることなく、「これから高速道路を走るんだ」と強く意識して走行してください。

過信は禁物

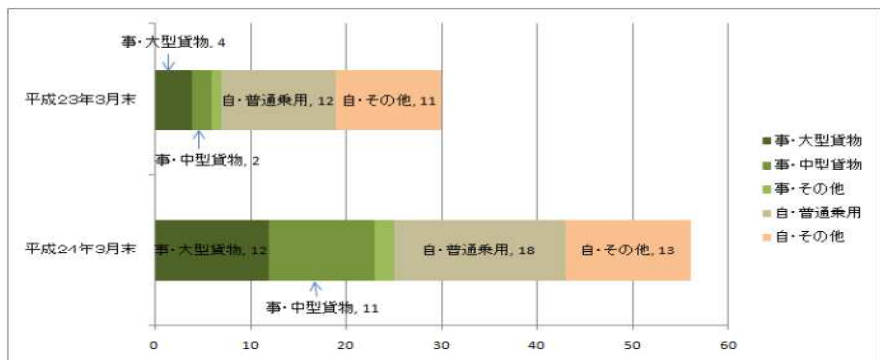
これまで無事故の方でも交通違反をしてしまったら、「事故当事者になる危険が身近に迫っている」と思い運転をあらためてください。

油断は大敵

「高速道路にも歩行者がいる」「故障車両や事故車両が止まっているかも知れない」ことを忘れずに、油断せず、特に前方の安全を確認しつつ交通ルールを確実に守って慎重な運転に努めてください。

5 事業用貨物車を運転する皆さんにお願い

プロのトラック運転手が第1当事者になる死亡事故が増えています。高速道路走行の模範になるよう、車間距離をしっかりと保って安全運転をして下さい。

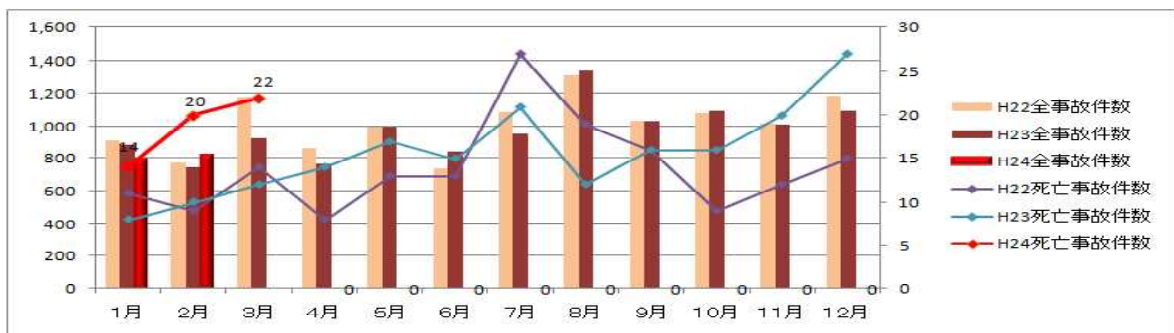


6 ゴールデンウィークを間近に控えて

例年、春先から7月にかけて交通死亡事故が増加します。それに加え、ゴールデンウィークには、日頃高速道路を利用しない方が遠出をすることが増えるため、あらゆる運転技能レベルのドライバーが高速道路で混在する状態となります。

高速道路交通警察隊では、速度超過や車間距離不保持、路肩通行等悪質・危険・迷惑性の高い違反の検挙活動を強化して、高速道路の安全を守ります。

H22年～H24年3月：高速道路の交通死亡事故等月別発生状況



連絡先：交通局交通企画課
 長嶋警視正（内線：5090）
 中村警視（内線：5095）

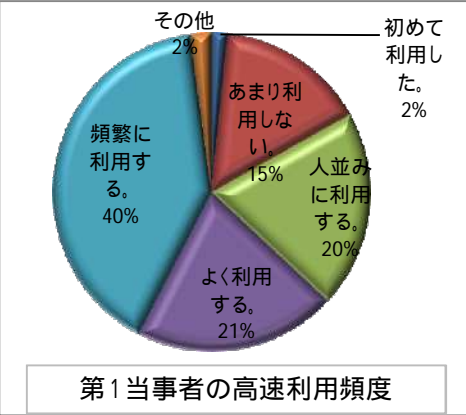
緊急提言！ 「慣れ・過信・油断」 高速道路の危険要素を排除せよ！

昨年から、高速道路における交通死亡事故が増加傾向にあります。特徴としては、相変わらず人と車が衝突する事故や、二次的な交通事故が増加しています。
「えっ！？ どうして高速道路に人がいるの？ 高速道路は自動車専用の道路でしょう？」
「どうして高速道路みたいな安全な道路で事故を起こすんだ。」
「きっと高速道路走行に慣れていない人が事故を起こしているのだろう。」
等と思われる方。あなたは既に「事故当事者」という落とし穴にはまっている可能性があります。警察庁が平成23年に発生した高速道路における交通死亡事故の原因をつかった当事者について調査分析した結果からわかった交通死亡事故当事者の特徴を紹介します。

	1月	2月	3月
H22全事故件数	917	776	1,179
H23全事故件数	886	751	928
H24全事故件数	795	822	
H22死亡事故件数	11	9	14
H23死亡事故件数	8	10	12
H24死亡事故件数	14	20	22

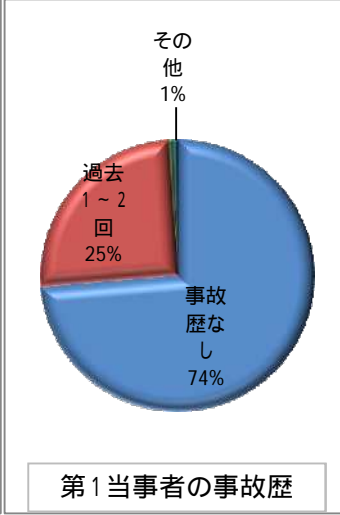
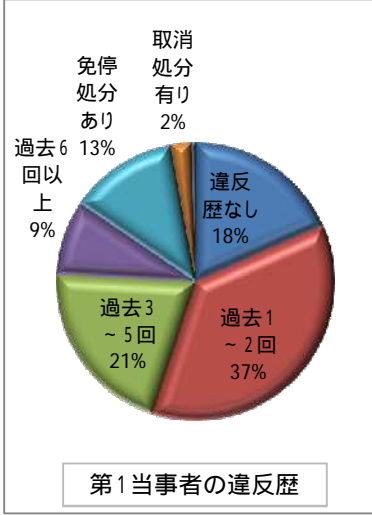
**わたしは高速道路をよく利用
するから、走行方法や危険性を
十分認識している。**

【アドバイス】
約8割の方が高速道路を「人並みに利用する」「よく利用する」「頻繁に利用する」という方でした。つまり、けっして、高速道路走行に不慣れな人だけが事故に遭っているわけではありません。むしろ、高速道路をよく利用する人ほど高速走行に慣れ、自分の運転を過信しているのではないのでしょうか？



**先日、交通違反で警察に捕まった。でも、事故を
起こしたことはないから自分の運転をあらためなくても
問題ない。**

【アドバイス】
約8割の方に「過去に交通違反歴がある」ことが判りました。その反面、約7割の方は交通事故歴がありませんでした。運が悪くて警察に捕まったが、事故は起こさない。」と思いませんか？ 交通違反は事故の前兆かも…。もう一度、自分の運転を見直しませんか？

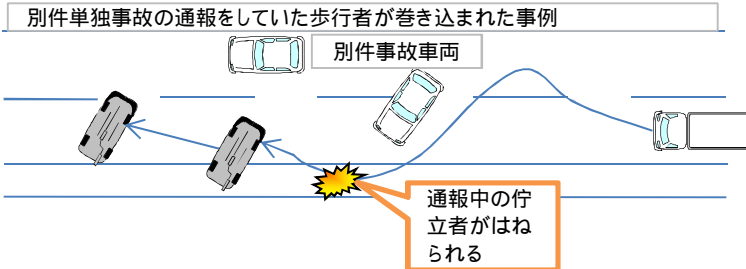


「第1当事者」とは、事故当事者のうち過失の重い者のことを言います。

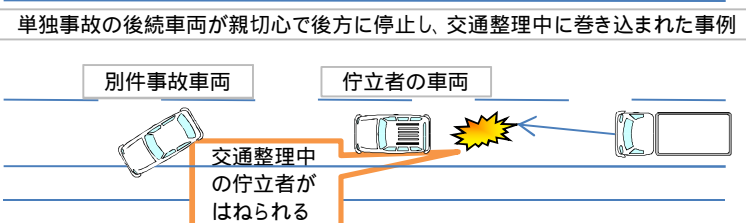
漫然・危険運転は多くの人を人生を狂わせることになります。

最近、事故当事者以外の通行者が親切心から通報や交通整理をしていて後続車にはねられ亡くなる事故が続いています。高速道路を利用する際は、一般道路とは違うことをしっかり認識しましょう。

【最近の交通死亡事故事例】



【最近の交通死亡事故事例】



【アドバイス】
高速隊員は高速道路を「戦場だ」と言って事故を起こさないよう細心の注意を払って仕事をします。戦場に丸腰(無防備)で立つことは絶対にしません。
高速道路利用者の皆さんは万が一に備え、自分や後続車両の身を守る停止表示器材等を備えましょう。
死亡事故の中には、交通トラブルから本線車道に車を止めて喧嘩していた事例もあります。高速道路では駐停車禁止です。
車間距離不保持で走る、追越車線ばかりを走る、そんな何気ない行為が事故の誘因となります。ちょっとした油断、ルール・マナー無視が、多くの人を一生を狂わせています。

誤りです！高速道路のこんな認識・走り方 ~あなたは大丈夫ですか？~

心構え・緊急時の対応に関する誤った認識等

1

高速道路は一般道路の延長という軽い気持ちで走行している。

改善ポイント

高速道路を自動車で行く際は、事前の準備(車両点検・情報収集)と適度の緊張感が必要です。電光掲示板の「事故・故障・落下物」等情報には、特に注意が必要です。

2

高速道路は信号もなく、人も自転車も走っていないので安全だ。

改善ポイント

故障車両の修理作業をしたり交通事故の当事者が事故を起こしたことに動揺し降車して歩いたり、思わぬ行動にすることがあります。原付・自転車の誤った立入にも注意しましょう。

3

事故を起こしてしまった。当然、後続車のドライバーは事故車や自分に気付いて減速してくれるだろう。

改善ポイント

全てのドライバーが事故や歩行者に気付いているとは限りません。速やかに後続車への安全対策(停止表示器材の表示等)を施し、道路外の安全な場所に待避してください。

4

路肩が広いから、故障したら路肩で修理すれば良いし、路肩に停まって携帯電話をすれば安全だ。

改善ポイント

高速道路の路肩は駐停車して修理や電話をする場所ではありません。路肩に停止して後続車が突っ込んでくる事故も多発しています。まずは安全な場所で 9910、110番を！

5

自分の車は故障なんてしないから停止表示器材を積んでいない。

改善ポイント

停止表示器材は、後続車に停止車両があることを知らせるためのものです。故障や事故はいつ起きるかわかりません。万が一、停止せざるを得なくなった場合に備え、携帯しましょう。

走行方法に関する誤った認識等

1

追越車線を走り続けても問題ない。

改善ポイント

追越車線は追越しのための車線です。追越しが終わったら、速やかに走行車線に戻り(キープレフト)、安全な速度と車間距離を確認することが大切です。

2

前車のブレーキランプにあわせて頻繁にブレーキを踏んで速度を調整している。

改善ポイント

車間距離が短いから前車のブレーキランプや速度変化に過剰反応するのです。車間距離を保ち、アクセル操作で速度を調整しましょう。過度のブレーキは事故や渋滞の原因になります。

6

一般道路を走ってきたが積荷は落ちなかった。高速道路でも落ちることはないから大丈夫だ。

改善ポイント

高速道路では風圧や強風・振動で積荷が落下することが多いです。小さな落下物でも高速道路では重大事故の引き金となるので、SA・PA等でこまめに点検をしましょう。

7

「ガソリンがちょっと少ない。」「車の調子が悪い。」「……まあ、何とかなるだろう。」

改善ポイント

「高速道路は燃費が良い」と言われますが、意外と消費します。また、エンジンなどにも負担がかかるので、早めの給油と車両点検に心掛けましょう。

8

前方に渋滞・異常を確認しても、ハザードランプは誰かが点灯してくれるだろう。

改善ポイント

ハザードランプは非常点滅表示灯です。渋滞や進路に異常な状態を認め停止するときに、後続車などに注意を呼びかけ、事故を防止するために活用しましょう。